

いちから
わかる!



ダーウィンの進化論 よくある誤解とは？

進化論の誤用



1859年
チャールズ・
ダーウィンが
「種の起源」
発表



初版本

要点

環境に適応したものが生き残る「自然選択」で生物が進化するという理論を提唱

1963年
米国の経営学者が誤った解釈

今も使われている

「種の起源によると、最も強いものが生き残るのでもなく、最も賢いものが生き残るのでもない。生き残ることが出来るのは変化できるものである」

ここが誤り

- 変化するものではなく、たまたまある環境に適応したものが生き残る
- 変化しない方が有利な時や、生き残りに不利な変化もある
- 個人や組織の進歩や改善と、生物が世代を重ねる中で起きる進化は全く別の現象

英ケンブリッジ大などの研究チームなどによる

「優生思想」を助長しかねない。政治や社会の問題に進化論を持ち出すことには慎重でいたいね。

(小坪遊)

「変化できるものが生き残る」は誤用。不利な変化もある

ホー先生 自民党のツイッターで「ダーウィンの進化論」が問題になったな。

A 憲法改正を呼びかける4コマ漫画で、「唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者」と訴えた。

ダーウィンは進化論を唱えた一人だけれど、この表現はよくある解釈の誤解の一つなんだ。

ホー え、そうなの？
A そもそも進化論は、

ヒトやサル、昆虫や植物と違ったすべての生物が、長い年月をかけて共通の祖先から進化してきたとする考え方だ。昔は信じない人も多かったけれど、現在は科学の定説になっている。

ホー 変化することで生き残れるんじゃない？
A いや、そうではない。

生物に起きた偶然の変化は、ある環境では有利に働くこともあるけど、環境

などが変わらぬに自分が変化したら、生き残りに不利になってしまうことだってある。たまたま環境に適応したものが生き残るということだ。この誤用は、50年以上前に米国の経営学者が誤って使ったのが発端とされる。今も変化の重要性を訴えるためにたびたび誤用されている。問題視する科学者は多いけど、なかなかなくならないんだ。

ホー キリンは高い木の葉を食べられるように進化した、というのは正しい？
A 「○○のために進化した」という表現も誤りだ。生物の進化は、生物が何かを意図して行うものではない。世代を重ねる中で結果として起きる現象だ。

アニメのキャラが変身して強くなることや、スポーツ選手のパワーアップ、製品の性能向上なども「進化」と表現されるけど、生物の進化とは関係ない。

ホー ホホウ。